



平成 28 年 9 月 21 日

各 位

上場会社名 常 磐 興 産 株 式 会 社
 代 表 者 代表取締役社長 井上 直美
 コード番号 9 6 7 5 (東証第 1 部)
 問 合 せ 先 取締役執行役員コーポレート部門担当 秋田 龍生
 電 話 番 号 0 3 - 3 6 6 3 - 3 4 1 1

業績予想の修正および特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 5 月 12 日に公表した連結業績予想を修正するとともに、特別損失（減損損失）の計上を行うことといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 29 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)
 (単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	18,780	1,570	1,440	1,220	13 円 89 銭
今回発表予想 (B)	18,280	1,050	930	750	8 円 54 銭
増減額 (B) - (A)	△500	△520	△510	△470	—
増 減 率 (%)	△2.7	△33.1	△35.4	△38.5	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	19,628	1,625	1,505	1,339	15 円 24 銭

(2) 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	34,790	1,960	1,580	1,260	14 円 34 銭
今回発表予想 (B)	34,840	1,280	890	650	7 円 40 銭
増減額 (B) - (A)	50	△680	△690	△610	—
増 減 率 (%)	0.1	△34.7	△43.7	△48.4	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	35,767	1,822	1,519	1,348	15 円 35 銭

(3) 修正の理由

平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績において、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、福島県内の観光需要が依然厳しい状況にて推移し、昨年オープンした流れるアクアリウムプール「フィッシュゴーランド」の話題性が一巡したことや実施した各イベントによる集客効果が予想を下回ったこと等により、スパリゾートハワイアンズの日帰り・宿泊両部門の利用者数が減少するとともに消費単価が想定を下回る見通しとなりました。これに伴い通期連結業績においても、上記のとおり修正を行うものであります。

売上高についてはスパリゾートハワイアンズが減収となったものの燃料商事事業が堅調に推移したことにより、ほぼ見込みどおりとなりました。

なお、配当につきましては、計画どおり株式併合（10 株を 1 株に併合）後の 1 株当たり年間 20 円を予定しております。

2. 特別損失（減損損失）について

(1) 固定資産に係る特別損失（減損損失）の計上について

平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間において、当社保有の固定資産（投資不動産）について、減損の兆候が認められたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失として 10 億 62 百万円を計上する見込みです。

(2) 業績に与える影響

平成 28 年 8 月 10 日付「繰延税金資産計上に関するお知らせ」にて発表しました繰延税金資産の計上および減損損失に伴う繰延税金負債取崩しによる法人税等調整額の計上により、上記の減損損失に係る連結業績に与える影響は軽微であり、その減損損失は「1. 業績予想の修正について」に反映されております。

※ 上記の業績の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上